

数学科

担当教員： XXXXXXXXXX

使用教材：教科書（東京書籍）、問題集など

【学習目標】

- ・数学を学習する意義や有用性を実感し、数学を学習する意欲を高める。
- ・基礎的、基本的な知識、技能の確実な習得を目指す。
- ・数学的活動を通して数学的な思考力、表現力を身に付け、数学の良さを知り、数学を活用する能力を養う。

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	算数から数学へ 正負の数 (28時間)		文字と式 (18時間)		夏休み	方程式 (14時間)	比例と反比例 (22時間)	平面図形 (17時間)	空間図形 (8時間)	冬休み	空間図形 (10時間)	資料の分析と活用 累積度数 (10時間)

学年計 140h

2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	式の計算 (15時間)		連立方程式 (12時間)		1次関数 (9時間)	夏休み	1次関数 (12時間)	平行と合同 (20時間)	三角形と四角形 (9時間)	冬休み	三角形と四角形 (15時間)	確率 (8時間)

学年計 105h

3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	多項式 (19時間)		平方根 (16時間)		2次方程式 (5時間)	夏休み	2次方程式 (10時間)	関数 $y=ax^2$ (17時間)	相似な図形 (23時間)	円 (10時間)	冬休み	三平方の定理 (13時間)	標本調査 (6時間)

学年計 140h

○授業について

- ・個々の習熟度に応じて、習熟度別少人数授業を行います。

○生徒の皆さんへ

- ・数学は積み重ねの教科なので、分からないことは、そのままにしないで質問しましょう。
- ・授業で扱った頻出問題は、問題集等で繰り返し解くようにしましょう。
- ・途中式や答えに至るまでの考え方は、ていねいに書くようにしましょう。
- ・提出物はていねいに取り組み、期日を守って必ず提出できるようにしてください。

○生徒の授業における ICT の活用について

- ・どのような方法で考えていくのか、ICTで見通しを他者と見合いながら、様々な考えを共有していきましょう。
- ・特にグラフや図形については、ICTで試行を繰り返しながら数学的な見方を広げ、理解を深めていきましょう。

○家庭学習はこのように取り組もう

- ・宿題は忘れずに、粘り強く取り組みましょう。
- ・自宅でもう一度同じ問題を解く、副教材の問題集もその日の内に進めましょう。分からなかった分は、朝や休み時間などを使って、積極的に質問しましょう。

○定期考査前はこのように取り組もう

- ・ノートやワークシートをよく見直しましょう。
- ・問題集を繰り返し解きましょう。また、丸付けをしっかりと、やり直しを丁寧に行いましょう。その際、必ず正しい途中式や考え方も書いて、理解を深めましょう。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
評価資料	【定期考査、小テスト】用語や、様々な性質を理解しているか。数量・図形の性質を、計算を通して処理できるか。	【定期考査、小テスト】文章題、証明問題などを解くことができるか。	【授業への取り組み】意欲的に取り組んでいるか。 【提出物(問題集など)】期限内の提出とその内容

